

# かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞)  
～一般部門(A):運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの～

## 免許証 返して増えた 家族の和



溝口神社の銀杏

(川崎市高津区)



**道路横断には気をつけて!**

高齢歩行者の事故が増えています。

**油断大敵!** 運転者も歩行者もルールを守って  
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者  
事故  
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(平成30年10月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成30年		21,660	127	25,675	県人口	9,179,853	4,577,252	4,602,583
平成29年		23,419	113	27,722	免許人口	5,639,460	3,226,318	2,413,142
増減数		-1,159	+14	-2,047	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-7.5	+12.4	-7.4				

(県人口は平成30年10月1日、免許人口は平成30年9月末現在)

# 飲酒運転根絶強化月間

## 実施期間

平成30年12月1日(土)～12月31日(月)の1か月間

## 目的

悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を県民総ぐるみで展開します。

## スローガン

乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者

## 重点

- ・ 飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発
- ・ 飲酒運転を助長する環境の根絶
- ・ ハンドルキーパー運動の推奨



飲酒運転で人身事故を  
起こすと、

# 危険運転致死傷罪

最高懲役 20 年の懲役に関われることも！！

飲酒運転も飲酒運転周辺者も厳罰！

## 「ストップ・ザ・交通死亡事故」

平成28年度から5か年計画で始まった「第10次神奈川県交通安全計画」では、交通事故による「年間の24時間死者数を150人以下」とする目標を掲げ、各季の交通安全運動をはじめ、各地区の交通情勢に応じた対策を推進し、2年連続で達成したところですが、今年度は、10月末現在の交通事故死者数が127人(前年比+14人)と、昨年と比べて大幅に増加しており、目標達成が極めて厳しい情勢にあります。



これから年末にかけて例年交通事故が多発傾向にあり、飲酒を伴う事故の増加も予想されることから、県警察では多発している二輪車関係事故や高齢者事故の防止を中心として、今後も月末・月初め6日間対策や年末の交通事故防止運動等に取り組む方針とのことですので、地元警察署や関係団体が連携し、地域の交通実態を踏まえた効果的な交通事故防止の取り組みに努めましょう。



## 受賞おめでとうございます

### 警察本部長・地域交通安全活動推進委員協議会連絡協議会会長連名表彰

交通の安全と円滑を図るために活動している中で、顕著な功労のあった原則として在任期間10年以上の個人と、多年にわたる地道な推進委員協議会活動により顕著な功労があった団体を対象として毎年表彰しています。

#### ● 交通安全功労者(50人)(敬称略)

小島美恵子、野崎信子、工藤美津子(伊勢佐木)、小室武彦(戸部)、  
岡崎康雄(保土ヶ谷)、田中保男(磯子)、西山宏二郎(旭)、磯貝 保(緑)、白石巧一(戸塚)、  
田中貞代(栄)、広瀬 徹、横山正之(瀬谷)、  
荏原正和(港北)、守屋輝一(青葉)、深瀬謙二(幸)、  
横山好子、山本忠義(中原)、篠田勝男、山根文男(宮前)、城田芳博、  
小倉勝義(多摩)、飯塚 實、梶 俊夫(麻生)、大川 渉(横須賀)、  
柏谷俊彦、藤井正男(三崎)、高山啓市(逗子)、小嶋 勇、船橋輝行(藤沢)、牧田 薫(鎌倉)、  
鈴木康夫(大船)、安西 昇(藤沢北)、三橋健二、  
水島正良(茅ヶ崎)、木村京化、中浦 渡、富田 享(平塚)、萩原峰子、  
峯村千寿子(大磯)、鈴木重司、千石誠治、尾崎輝雄(小田原)、  
山崎 博(松田)、前場敏男(厚木)、鈴木貴市、山口 清(相模原南)、  
笹森モト、乾 克明(相模原北)、安西信幸、諸角光雄(津久井)

#### ● 交通安全功労団体(3地区協議会)

- ・横須賀警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 代表:中村昌弘
- ・松田警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 代表:大谷 隆
- ・相模原北警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 代表:吉田 實

## 運転免許証自主返納者へ卒業証書を進呈

戸部交通安全協会(三石孝司会長)では、永年の安全運転に感謝し、運転免許証を自主返納された方へ9月から卒業証書をお渡しすることとしました。

今後は歩行者として交通事故に遭わないよう、卒業証書と併せて反射材等をお渡ししてまいります。



## 自転車安全整備制度推進会議（関東ブロック）

自転車安全整備制度（TSマーク制度）」の普及・促進を図るため、10月4日(木)新潟県新潟市において(公財)日本交通管理技術協会主催による「自転車安全整備制度推進会議（関東ブロック）」が開催されました。

この会議は、毎年、ブロック内の都県自転車安全整備管理者（自転車商協同組合理事長）及び都県交通安全協会専務理事等が一同に会し、開催されています。

会議の前に、昨年度TSマークの普及促進に功労があった協会等に対する感謝状の贈呈が行われ、当県協会も「TSマーク交付枚数の部」

で受賞しました。会議では主催者、来賓からそれぞれ挨拶があり、主催者側から「TSマークの普及拡大状況」、「自転車事故の高額賠償事例」等についての説明があり、その後ブロック内各都県各交通安全協会等からTSマークの普及拡大方策についてそれぞれ事例発表の後、質疑応答、今後のTSマークの普及拡大に向けた活発な討議が行われました。



感謝状を受ける菅原専務理事（左）

## 新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～



伊勢佐木交通安全協会 中嶋 清 事務長

平成23年3月末に高速道路交通警察隊を最後に定年退職しました。交通警察官として、貴重な経験を数多くさせてもらい、退職後も引き続き南横浜自動車学校に5年間勤務し、その後2年間は、交通を離れて民間企業に就職しましたが、今回、また、縁があって今年の4月から伊勢佐木交通安全協会の事務長として勤務しております。

伊勢佐木交通安全協会のある中区は特殊で、4警察署に分割された中の一つ、伊勢佐木警察署管内を担当しており、当地域は、中区内でも繁華街が多く夜間の人通りが多い場所であり、それに伴う交通事故や交通トラブルが多く発生しております。これらの交通事故等を減少させるため、伊勢佐木警察署指導のもと、横浜市交通安全対策協議会等の関係機関と連携を密にし、交通安全は、一人ひとりの心がけをモットーに、広報、啓発活動に積極的に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査の開催

神奈川県二輪車安全運転推進委員会では、神奈川県警察、神奈川県二輪車普及安全協会等の協力を得て、10月13日(土)神奈川県警察運転免許センターで「二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」を開催しました。

この講習会・審査は、二輪車運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進することを目的に開催していますが、本年も地区交通安全協会の方をはじめとして二輪販売店従事者、二輪愛好家など15名の方が受講しました。

当日は、開講式に続いて、午前中は県警察担当官による適性検査、法令講習、法令試験、午後からは二輪車安全運転推進委員会特別指導員の指導で実技講習を行った後に、面接審査を行いました。

受講者全員の方が合格し、県二輪車安全運転推進委員会から認定証、指導員手帳、バッジ、ワッペンを交付する予定です。



## 地域交通安全活動推進委員研修会の開催

地域交通安全活動推進委員（以下「推進委員」という。）は、道路交通法等を根拠に、「地域における交通の安全と円滑に資するための活動」として、

**交通安全教育、広報・啓発、協力要請、相談、協力援助、実地調査**等を広く行うことを任務としています。



そのため、推進委員には各種活動に必要な知識等を習得する機会が与えられています。

県協会は、公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受け、推進委員に対する研修事務(毎年度ブロック別研修1回以上、各協議会ごとの地区別研修2回以上)を受託契約のうえ、各協議会と連絡調整を図りながら行っています。

ブロック別研修会は、12ブロックの各幹事協議会が、それぞれ持ち回りで順次開催して頂いておりますが、地区別研修会については、未開催の協議会が見受けられますので、管轄警察署の指導の下、事前に当センターと日程等調整のうえ、今年度内(来年3月末)までに研修会を開催していただくようお願いします。

## 交通事故の悲劇に学ぶ ⑥4

### ● 「償いへの遠い道」 農業(63歳)

自動車を運転することは危険性を伴う行為ですので、道路交通法に「安全運転の義務」が定められています。けれども、その運転者として必ず守らなければならない注意義務を忘れてしまったため、私は市原刑務所で自分の犯した交通犯罪への反省の日々を送っています。

平成27年のある日、私は以前住んでいた家の掃除と残っていた荷物の運搬のため、高速道路を2時間程運転した後、お昼頃に最寄りのインターチェンジから一般道に入り、「やれやれもう少しだ」という気分で運転をしていました。何度か通ったことのある道なので、緊張感が薄れていたのか、つい息子の就職のことについてうまくやっていけるだろうかなどと考えながら運転をしていました。

はっと気が付くと、前方の信号が赤信号になっており、慌てて急ブレーキを踏みましたが、止まりきれず、左側から交差点を自転車で横断しようとしていた男性と接触してしまいました。被害者の方は、自転車とともに交差点の中央に倒れていましたので、すぐに車から降りて駆け寄ったところ、小さな声で唸っていました。「大丈夫ですか」と声を掛けても、返答はありませんでした。

私は急いで救急車を呼ぼうとしたのですが、慌てていたため、携帯電話が見つからず、現場に居合わせた方に救急車への連絡をお願いしました。昼間でしたが、冬の路面は冷たかったので、着ていた上衣を脱いで被害者の方の下に敷きました。そして、被害者の方のお命が助かって欲しいと願いながら声を掛け続けましたが、救急車が到着するまでの時間が気の遠くなるほど長く感じられました。

私はその場で現行犯逮捕されました。そして、翌日の取調べ中に被害者の方がお亡くなりになられたことを知りました。私はかけがえのない被害者の方のお命を奪うという取り返しのつかない重い罪を犯してしまったのです。起訴後に保釈された私は被害者の方のお通夜に参列させていただき、被害者ご遺族の方に謝罪させていただきました。

しかし、深い悲しみにくれ、「親しいの息子でした」「とても良い夫でした」「やさしい父でした」と涙ながらに語る被害者ご遺族の方の前では、ただうなだれて「申し訳ありません」という言葉を繰り返すことしかできませんでした。ある被害者のご親族の方に「あなたの犯した罪で、私達はもちろん、あなたの家族も苦しまなければならないのですよ」と諭され、加害者の家族のことまで考えて下さった温かいお言葉に自分の犯した罪の深さを思い知らされました。「もう二度と運転はしません」と私は被害者ご遺族の方に誓いました。

私は過失運転致死罪により、禁錮1年10月の実刑判決を言い渡されました。大切なご家族が永久に帰って来ないということに



対し、わずか1年10月の実刑は被害者ご遺族の方にとっても納得していただけるとは思っていません。

事件を起こした後、運転中に集中力を保てなかった原因について、途中の休憩は十分だったのか、年齢的な運転能力の低下があったのではないかなど、言い訳じみたことを考えていました。そのため、本質的な原因である、運転は上手であるとか、今まで無事故だったという、運転に対する自己過信、慢心、驕りなどがあったことを悟るまで長い時間がかかりました。

市原刑務所で交通犯罪被害者ご遺族の方々に事故後のつらい経験についてお話を伺う機会があり、その時に加害者が罪を償うためにはどうあるべきかについてもご助言をいただきました。そうした受刑中の教育を通じて、自分の犯した罪に正面から真剣に向き合うこと、被害者ご遺族の方がどんなにつらい思いで毎日生きているかをよく考えること、自分の犯した罪を一生忘れないという気持ちを持ち続けることなど、私に課せられた責務をはっきりと自覚できました。もちろん私の犯した罪は決して許されるものではなく、謝罪によって被害者ご遺族の方の悲しみや怒りが癒えることはないと思います。それでも例えどんな形であっても一生謝罪を続けようと思います。私の犯した罪により、被害者ご遺族の方のつらい思いを考え続けて、可能であれば少しでも理解できるようになればと思います、受刑生活を送っています。

私は自分が安全運転をしていると自分勝手に思い込み、運転初心者であった頃のように懸命に周囲の状況に気を配るといふ事を忘れ、注意力を欠いた状態で運転して前方不注視の結果、過失運転致死という取り返しのつかない罪を犯しました。私のような愚かな行為による交通犯罪が少しでも減ることを願ってこの手記を書かせていただきました。自動車の運転は絶えず危険を伴う行為ですので、どうか運転中は気を抜くことなく常に十分に安全確認をしていただくようお願い致します。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第52集)」から～

### 賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 川崎運送(株) ————— 川崎市川崎区元木
- 川崎商工会議所 ————— 川崎市川崎区駅前本町
- 大本山川崎大師平間寺 ————— 川崎市川崎区大師町

この人

152



藤沢市交通安全協会  
会長  
山口 幸雄さん



～はじめは奉仕の精神と地域を愛することから始まりました～

今から5年前に当協会の会長に就任していただいた、山口幸雄さんは、お父様が当協会の発足当初から役員となられ、第二代会長として昭和34年から27年間の長期にわたり、会長を勤めていただいた方で、山口会長自身、その歴史の重さを感じておられます。

藤沢市交通安全協会の始まりは「藤沢市交通自治会」と称していましたが、昭和22年10月1日に現在の名称に変更し、事務所についても藤沢市本町から藤沢商工会議所内に、移転を繰り返してまいりました。

昭和39年4月28日、現在の本鶴沼4丁目に事務所を移転すると同時に、免許会員の増加と交通安全活動の充実強化のため、各種交通安全活動に取り組んでいます。

お父様の会長時代には、「ボランティア」という言葉もなく、当時の方々は無私の心で抱いた交通安全に対する、揺るぎない奉仕の精神と地域を愛する活動の輪が広がり、多くの市民から共感を得て以来、会員の皆様のご理解とご協力をいただき、今日に至って

おります。

昭和から平成の時代に入り、車の安全対策や安全な道路環境が飛躍的な発展を遂げていく中で、会長は「車を運転するドライバーをはじめ自転車や歩行者など道路を利用する一人ひとりが、交通安全に対する意識を高め安全はすべてに優先する」という想いで、藤沢市交通安全協会が交通事故撲滅の発信基地として、地域に貢献していきたいと語られております。

さらに、会長は当協会に加入していただいている免許会員の皆様や交通指導員、交通代議員の方々を始め交通関係機関・団体の方々の温かいご支援とご協力をいただき、市民が必要とする安全で住みよい地域社会の実現に向け、奉仕の心を持って地域を愛する活動に努めておられます。

その様な会長の想いに、強く感動した事務局としても、奉仕の精神と地域を愛する心を忘れず、これからも会長の期待に応えてまいりたいと思っております。

(取材協力: 藤沢市交通安全協会)

こんにちは  
「港北交通安全協会」です

当協会は、港北警察署が開設された昭和42年4月と同時期に港北交通安全協会として警察署敷地内に設立され、昨年50年の節目の年となりました。現在地は、港北警察署が移転と共に隣地を購入し開設されています。

さて、港北区は、横浜市18区の中で最も人口が多い34万人を超える地域であり、新幹線新横浜駅を中心にJR横浜線、東急東横線、横浜市営地下鉄の主要駅を抱え、周辺には横浜国際総合競技場(日産スタジアム)、横浜アリーナなどの大規模施設が在ります。幹線道路は、綱島街道や環状2号線、横浜上麻生線が通っており、第3京浜港北イン

ターと最近開通した、首都高速道路横浜北線等、道路網も充実した利便性の高い地域になっています。

その様な状況下から自動車等の交通量も多く、昼夜を問わず人口も多い地域です。また、小学校25校、中学校9校が在り、子どもの人口も増加している地域です。子どもたちに向けた交通安全教育や各季のキャンペーンにも力を入れ、区役所、警察と一体となり活動をしています。

来年にはラグビーワールドカップ2019が横浜国際総合競技場(日産スタジアム)で、決勝戦を含め7試合が開催されます。また、その翌年には東京2020オリンピック・パラ



リンピック競技大会が控えており、この港北区に世界中から人が集まります。開催期間中はもちろんのこと、今後とも犯罪や交通事故のない港北区を目指して交通安全協会はじめ関係団体、区民一人ひとりが協力し、事故・犯罪ゼロ運動を続けて行きたいと思えます。

(高橋 記)

地区交通安全協会の活動紹介



山手 本牧地区での交通安全キャンペーン



厚木警察署管内 本厚木駅周辺での交通安全キャンペーン



藤沢北 湘南台駅周辺での交通安全キャンペーン



大船 松竹離山通りでの交通安全キャンペーン



横浜水上 横浜水上警察署前での交通安全キャンペーン

違法駐車・放置自転車クリーンキャンペーン



津久井 城山高校前での交通安全キャンペーン



都筑 センター北駅前での交通安全キャンペーン



相模原北 橋本高校正門での交通安全キャンペーン



青葉 あざみ野駅前での交通安全キャンペーン



港南 港南警察署前での交通安全キャンペーン

インフォメーション

- 飲酒運転根絶強化月間 ————— 12月中
- 二輪車安全運転特別講習 ————— 12月8日(土) 運転免許センター
- 年末の交通事故防止運動 ————— 12月11日(火)～12月20日(木)